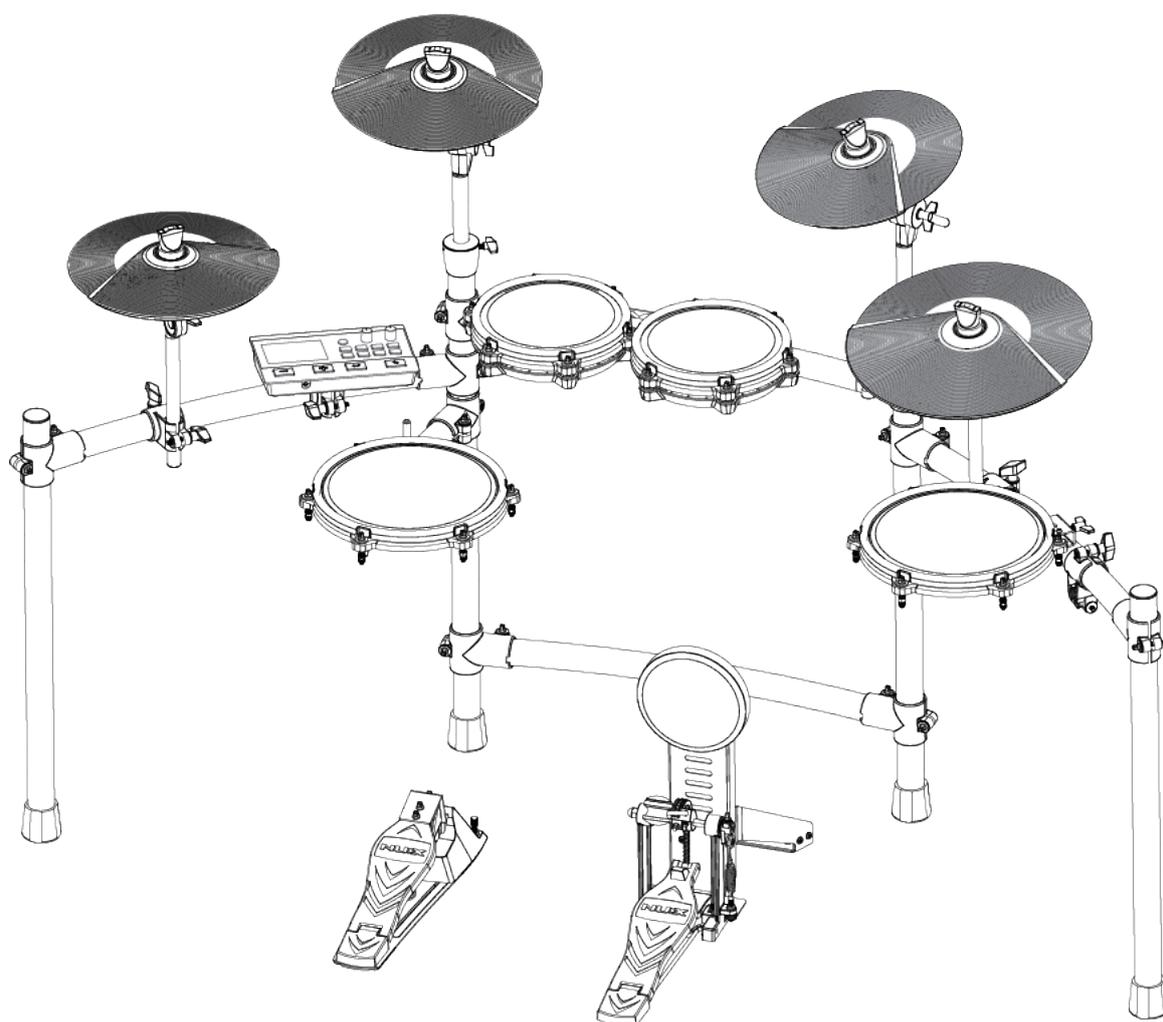


# 取扱説明書

## DM-310 DIGITAL DRUM KIT



# NUX

## 安全上のご注意 必ずお守りください

■お使いになる人やほかの人への危害、財産への損害を未然に防ぐために、必ずお守りいただくことを説明しています。

### 警告

- ・ **異常がある場合はただちに使用を中止する**：焦げくさいにおいが出る、煙が出ている、物や液体が入ったなど、感電、火災の原因になります。直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店へサービスをご依頼ください。
- ・ **濡らさない**：感電、火災、故障の原因になります。
- ・ **内部に異物を入れない**：水や金属が内部に入ると、感電、火災、故障の原因になります。
- ・ **分解／改造はしない**：感電、火災、故障の原因になります。

### 注意

- ・ **高温になる場所や熱のこもりやすい場所で使用、保管、放置しない**：火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などで使用、保管、放置しないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- ・ **乳幼児の手の届く所に置かない**：サイズの小さな付属品などは飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。
- ・ **強い圧力を加えたり折損させたりしない**：ポケットの中やカバンの中など強い圧力がかかる場所に保管しないで下さい。火災、やけど、けが、感電、故障の原因になります。
- ・ **ぬれた手で使用しない**：感電、火災、故障の原因になります。
- ・ **対応した電源アダプター以外を使用しない**：付属の電源アダプター以外は本製品ではご利用いただけません。故障の原因になりますので、電源アダプターは必ず本書で指定されたアダプターのみをご利用ください。

※廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

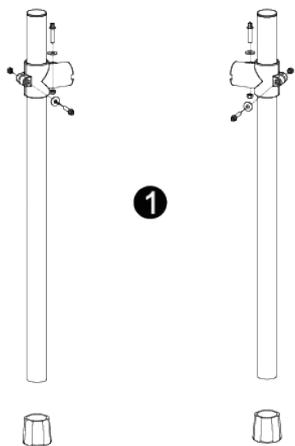
# 目次

---

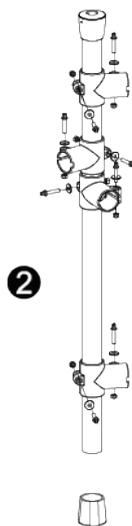
簡易組み立てガイド .....	04
ドラムスタンドとコンポーネント .....	04
ケーブルの接続 .....	06
モジュールコントロールパネル .....	07
フロントパネル .....	07
インターフェースパネル .....	07
外部デバイスの接続 .....	08
スクリーンについて .....	09
演奏の準備 .....	10
電源の ON/OFF.....	10
演奏の仕方 .....	10
操作方法 .....	12
トーンを調整する .....	12
コーチ .....	12
レコーディング機能 .....	13
システム設定 .....	14
ハイハットセット .....	14
クリック .....	14
エフェクト .....	14
トリガー .....	15
パンニング .....	15
キット名称 .....	15
アウトプット .....	16
MIDI ノート .....	16
リセット .....	16
オプション .....	16
USB AUDIO/USB MIDI.....	17
BLUETOOTH.....	17
AUX IN.....	17
外部トリガー入力 .....	17
技術仕様 .....	18

# 簡易組み立てガイド

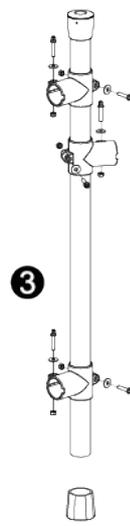
## ■ ドラムスタンドとコンポーネント



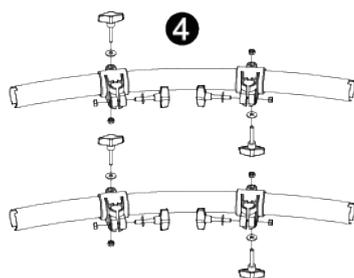
ドラムスタンド(正面)



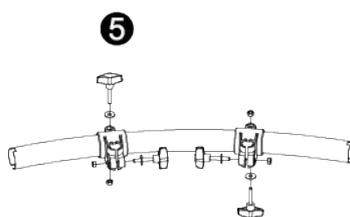
ドラムスタンド(背面/左側)



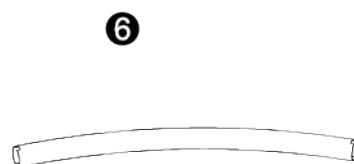
ドラムスタンド(背面/右側)



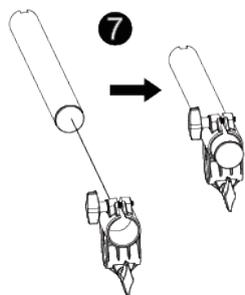
ドラムスタンドアーム



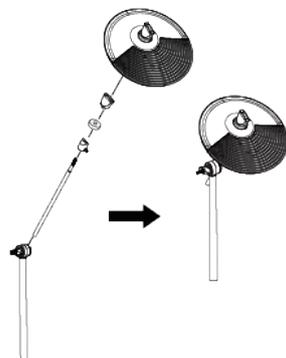
ドラムスタンド(上部/右側)



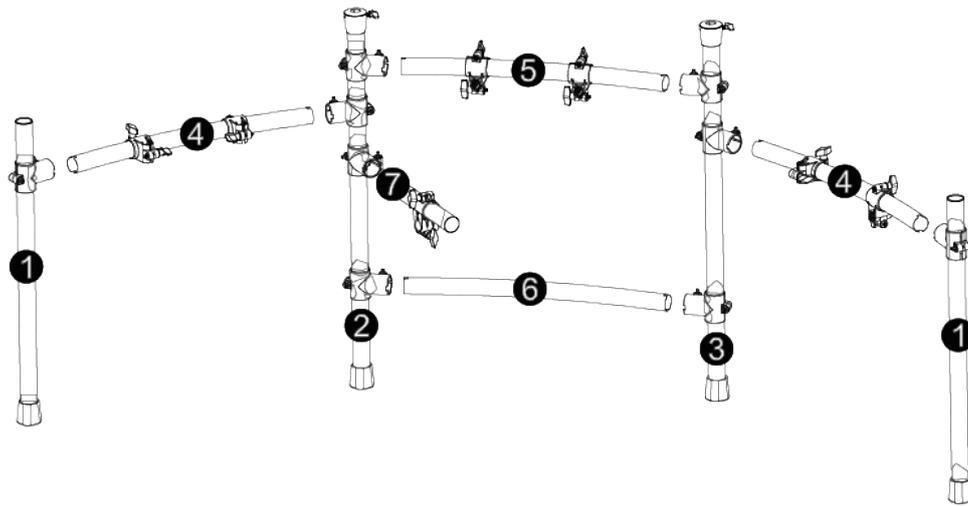
ドラムスタンド(下部)



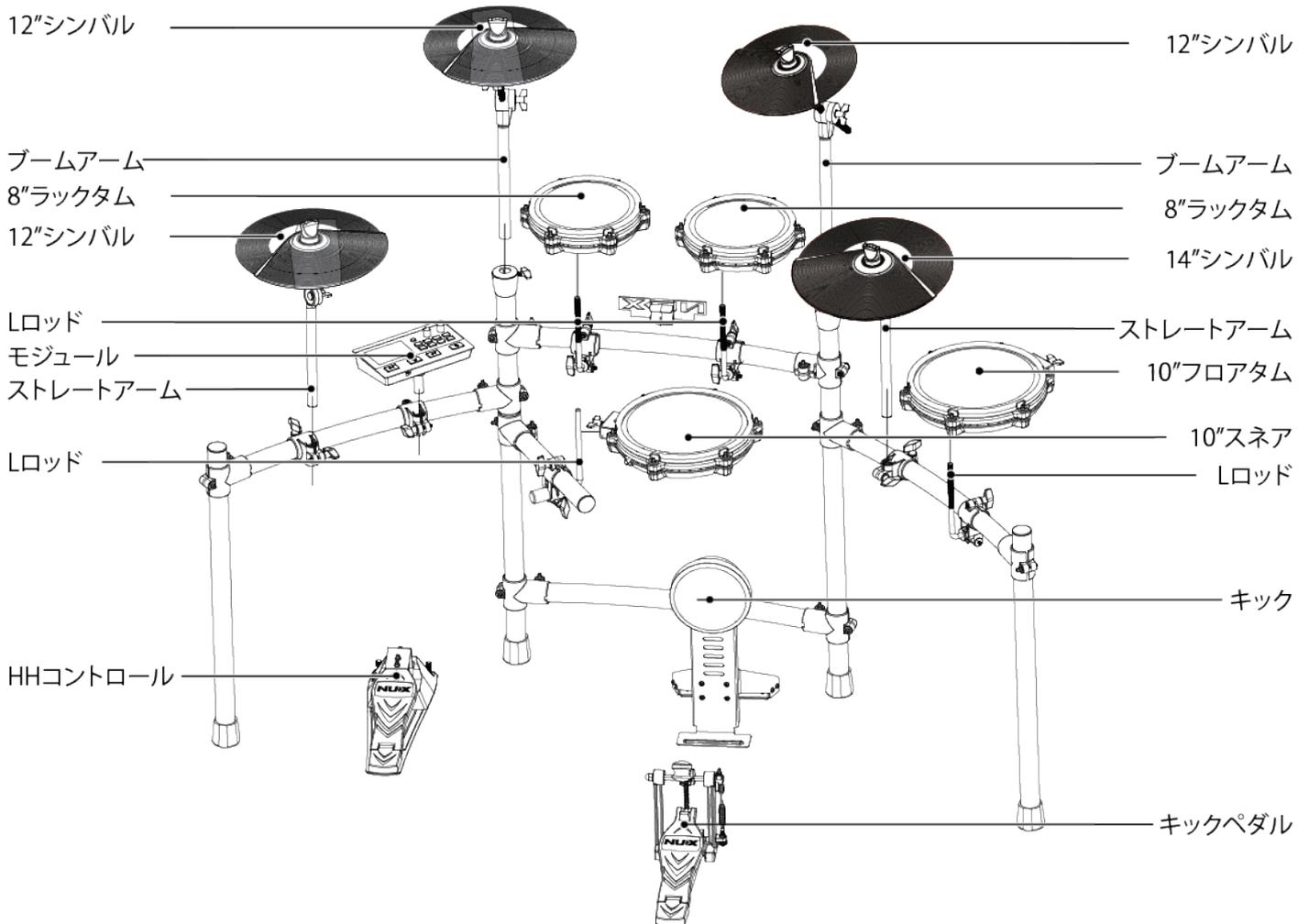
スネアホルダー



シンバル



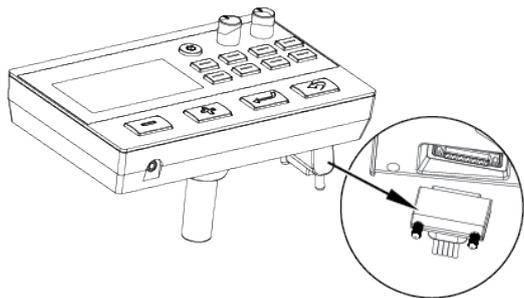
ドラムラックの組み立て



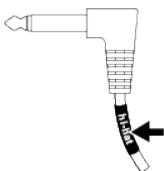
モジュール/パッド/シンバル/HHコントロール/キックを装着する

## ■ ケーブルの接続

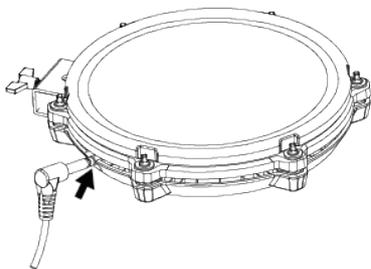
1. ケーブルをモジュールに接続します。



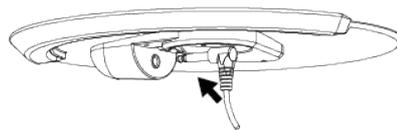
2. ケーブルに印字されているドラムパッドをそれぞれ接続します。



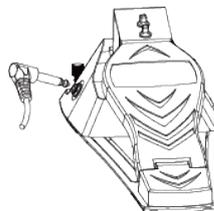
● ドラムパッドは以下の様に接続します。



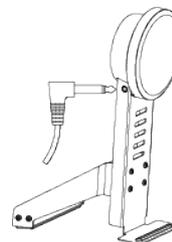
● シンバルパッドは以下の様に接続します。



3. HHコントロールとキックを接続します。



HHコントロール

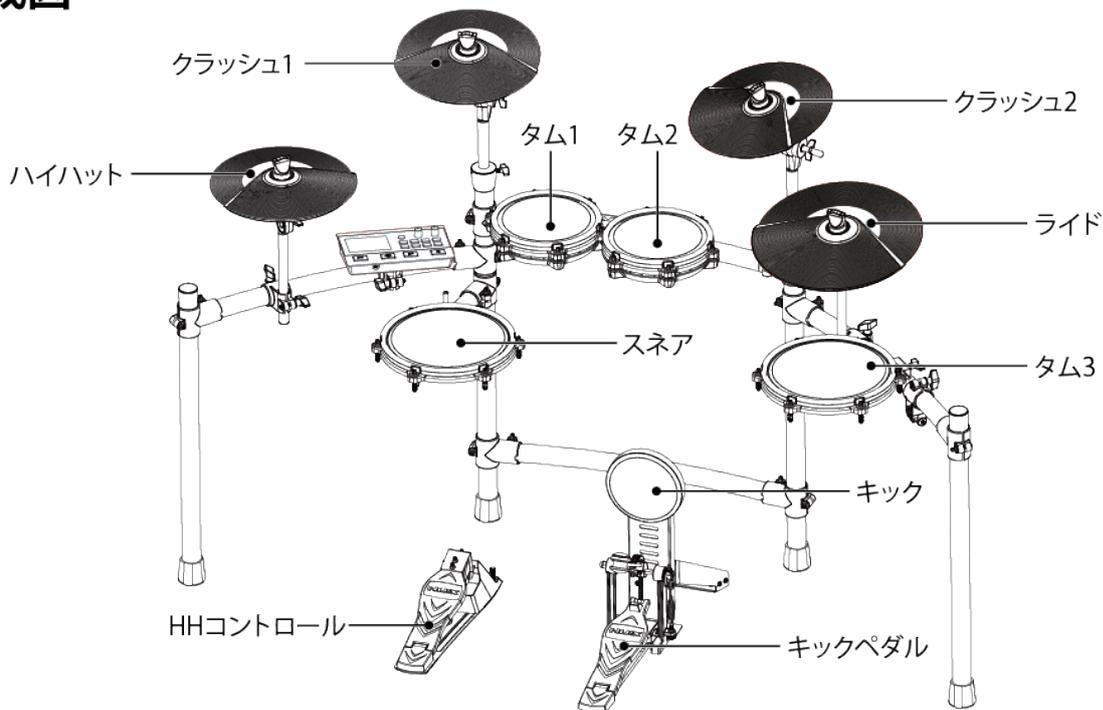


キック

### ⚠ 注意事項

機器の損傷を防ぐため、全ての接続は電源をOFFにした状態で行ってください。

## ■ 完成図



# モジュールコントロールパネル

## ■ フロントパネル



Number	Name
①	POWERボタン
②	PHONESボリュームノブ
③	MASTERノブ
④	TONEボタン
⑤	CLICKボタン
⑥	REVERBボタン
⑦	KITボタン
⑧	MENUボタン

Number	Name
⑨	COACHボタン
⑩	RECボタン
⑪	PLAY/STOPボタン
⑫	- パラメーターアジャストボタン
⑬	+ パラメーターアジャストボタン
⑭	ENTERボタン
⑮	RETURNボタン
⑯	PHONESジャック

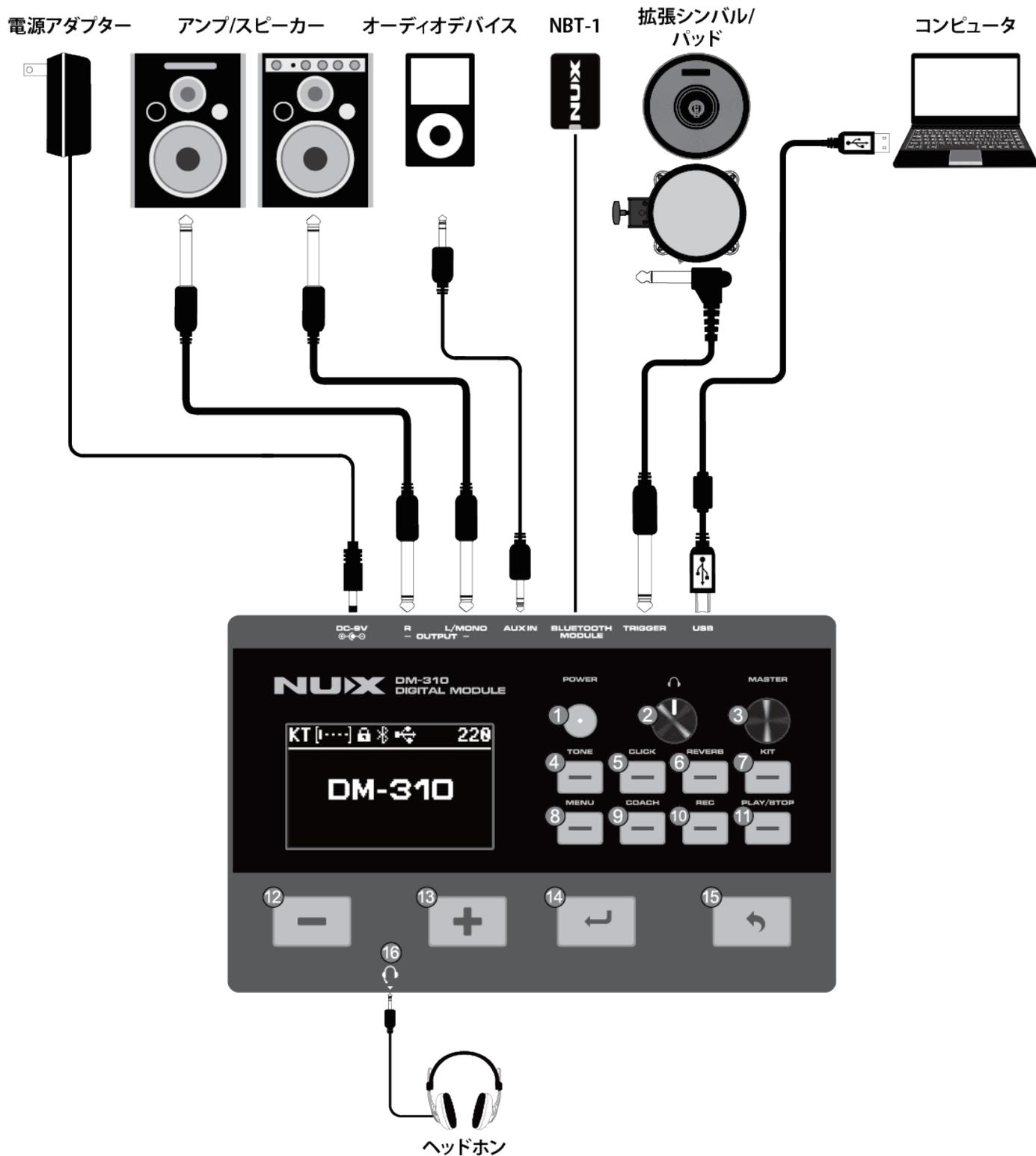
## ■ インターフェースパネル



Number	Name
⑰	USBポート
⑱	TRIGGERジャック
⑲	NBT-1接続用ジャック
⑳	AUX入力

Number	Name
㉑	L/MONOアウトプット
㉒	Rアウトプット
㉓	DC 9Vジャック

# 外部デバイスの接続



## ⚠ 注意事項

機器の損傷を防ぐため、全ての接続は電源をOFFにした状態で行ってください。

## スクリーンについて

---



Number	Name
①	現在演奏しているパッド名
②	パッドを叩いた強さ
③	MEMOLY LOCKアイコン

Number	Name
④	Bluetooth®アイコン
⑤	USBアイコン
⑥	テンポ

# 演奏の準備

## ■ 電源の ON/OFF

### \* 電源を ON にする

1. [MASTER ノブ] と [PHONES ノブ] を最小レベルに設定します。
2. アンプやスピーカーの音量を最小レベルにします。
3. [POWER ボタン] を押して、DM-310 の電源を ON にします。



\* 電源を ON にした際に小さなノイズが聞こえる場合がありますが、これは正常な動作です。

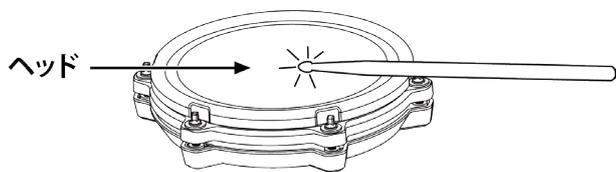
4. いずれかのパッドを叩きながら音量を調節してください。

## ■ 演奏の仕方

### \* タム

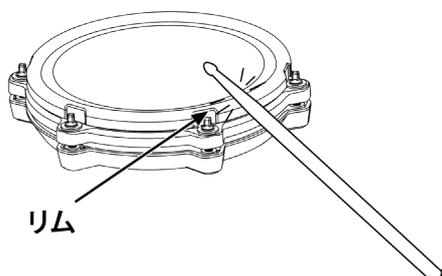
#### ヘッドショット

ヘッドを叩いてください。



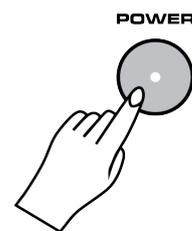
#### リムショット

リムを叩いてください。



### \* 電源を OFF にする

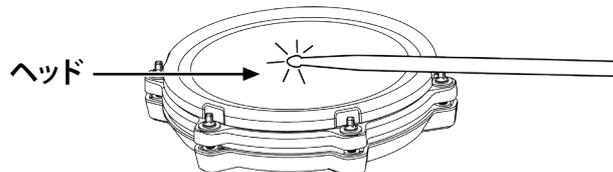
1. アンプやスピーカーの音量を最小レベルにします。
2. [POWER ボタン] を押して、DM-310 の電源を OFF にします。



### \* スネア

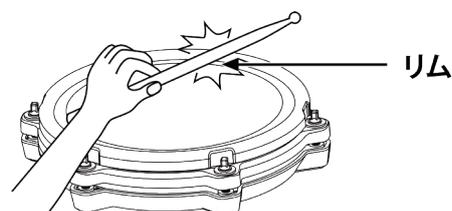
#### ヘッドショット

ヘッドを叩いてください。



#### クロススティック

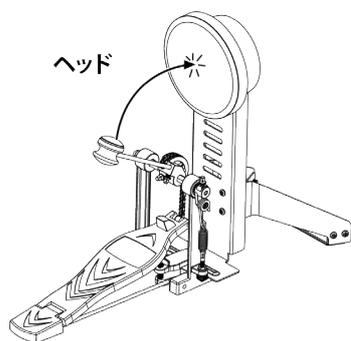
リムを叩いてください。



## \*キック

---

キックペダルを踏み込んでください。

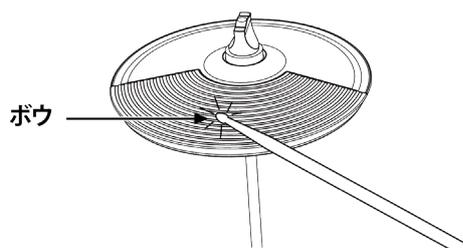


## \*クラッシュ/ライド

---

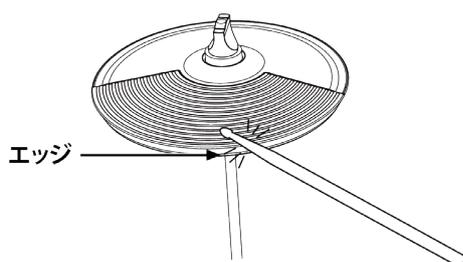
### ボウショット

ボウを叩いてください。



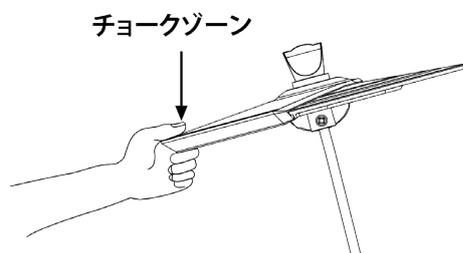
### エッジショット

エッジを叩いてください。



### チョーク

シンバルを叩いた直後にシンバルのエッジを手でチョークするとミュートができます。チョーク機能は、この部分を握ったときのみ機能します。



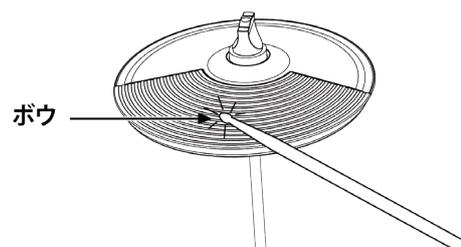
## \*ハイハット

---

ハイハットサウンドは、ハイハットコントロールペダル (HH コントロール) の踏み具合によって、オープンとクローズの間でサウンドがスムーズに変化します。

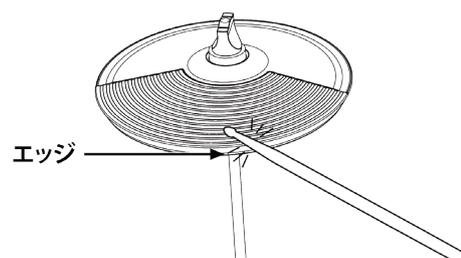
### ボウショット

ボウを叩いてください。



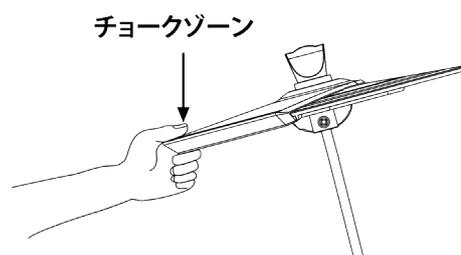
### エッジショット

エッジを叩いてください。



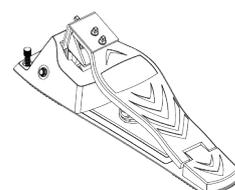
### チョーク

ハイハットを叩いた直後にエッジを手でチョークするとミュートができます。



## \* HH コントロール

---



### オープンハイハット

ペダルを踏まずにハイハットを叩きます。

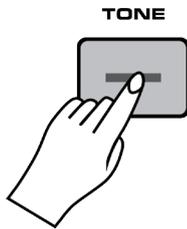
### クローズハイハット

ペダルを踏みながらハイハットを叩きます。

# 操作方法

## \*トーンを調整する

1. [TONE ボタン] を押して、トーン編集モードに入ります。



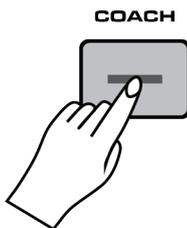
2. このモードでは、それぞれのサウンドのトーンやピッチ、音量を編集することができます。また、ドラムヘッドのヘッド/リム、シンバルのボウ/エッジを切り替えることもできます。



3. [+][-] ボタンを使用して、パラメーターを変更し、[ENTER ボタン] で調整するパラメーターを切り替えます。[RETURN ボタン] を押すことで戻ることができます。

## \*コーチ

1. [COACH ボタン] を押して、コーチモードに入ります。



2. コーチモードに入ったら、[+][-] ボタンを使用して希望する練習を選択し、[ENTER ボタン] を押して、決定します。



3. 行いたい練習を選択したら、カウントダウンが開始され、その後に練習が始まります。
4. いずれのコーチ機能でも、[CLICK ボタン] を押すと、メトロノーム調整画面に入ります。また、[MENU ボタン] を押すことで、コーチ機能のパラメーター調整を行うことができます。

### アクセントシフト

COACH CLICK	COACH CLICK	
	TEMPO	182
ACCENTS SHIFT	SOUND	1
	VOLUME	78
ACCENTS SHIFT	ACCENTS SHIFT	ACCENTS SHIFT
	ACCENTS	RHYTHM
	SOUND	4TH
ACCENTS SHIFT	ACCENTS SHIFT	SCORE
	SCORE	8BAR

### タイムチェック

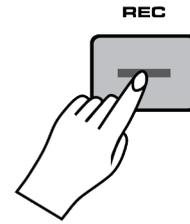
COACH CLICK	COACH CLICK	
	TEMPO	182
	BEAT	4
	RHYTHM	♪
TIME CHECK	COACH CLICK	
	VOLUME	78
	TIME CHECK	FINISHED!
	SCORE	90
TIME CHECK	TIME CHECK	
	SCORE	8BAR
	DISPLAY 1	KICK
	DISPLAY 2	SNARE
TIME CHECK	Gauge display: SNARE, BEHIND, GOOD, AHEAD, KICK, 4-1	
	Gauge display: GAUGE, LEFT BEHIND	

クワイエットカウント		
COACH CLICK	COACH CLICK	COACH CLICK
	TEMPO 182	VOLUME 78
QUIET COUNT	BEAT 4	
	RHYTHM	
	SOUND 1	
	QUIET COUNT	QUIET COUNT
	4-4 READY... 4-1	4-4 QUIET 4-1
	FINISHED! SCORE: 90	MEASURES 16 QUIET 2

チェンジアップ		
COACH CLICK	COACH CLICK	
	TEMPO 182	
CHANGE UP	BEAT 4	
	SOUND 1	
	VOLUME A	
	CHANGE UP	CHANGE UP
	CHANGE UP READY... 4-1	CHANGE UP FINISHED! 4-1
	CHANGE UP DURATION 28MINS	CHANGE UP MEASURES 8

## \*レコーディング機能

1. [REC ボタン] を押すと、レコーディング機能に入ることができます。



2. レコーディング機能に入ったら、いずれかのドラムパッドを叩くとレコーディングが始まります。



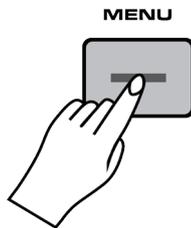
3. 演奏を停止して3秒間経過すると、レコーディングも終了します。[PLAY/STOP ボタン] を押すことで、レコーディングした音声を聞くことができます。



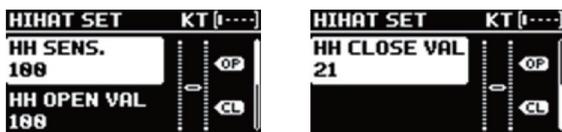
# システム設定

## \*ハイハットセット

- [MENU ボタン] を押し、メニュー画面に入ったら、[-] または [+] ボタンで HIHAT SET を選択し、[ENTER ボタン] を押します。



- HIHAT SET インターフェースでは、パラメーターを [-] または [+] ボタンで調整し、パラメーター項目を [ENTER ボタン] で切り替えます。
- DM-310 の HI-HAT はクローズ / ハーフオープン / オープンの 3 パートに別れています。
- HH SENS でペダルの感度を 0 - 127 の範囲で調整できます。
- 図中のオープン (OP) とクローズ (CL) の間隔はハーフオープンの範囲で、HH OPEN VAL と HH CLOSE VAL で調整できます。



## \*クリック

- [MENU ボタン] を押し、メニュー画面に入ったら、[-] または [+] ボタンで CLICK を選択し、[ENTER ボタン] を押します。



- CLICK インターフェースでは、パラメーターを [-] または [+] ボタンで調整し、パラメーター項目を [ENTER ボタン] で切り替えます。

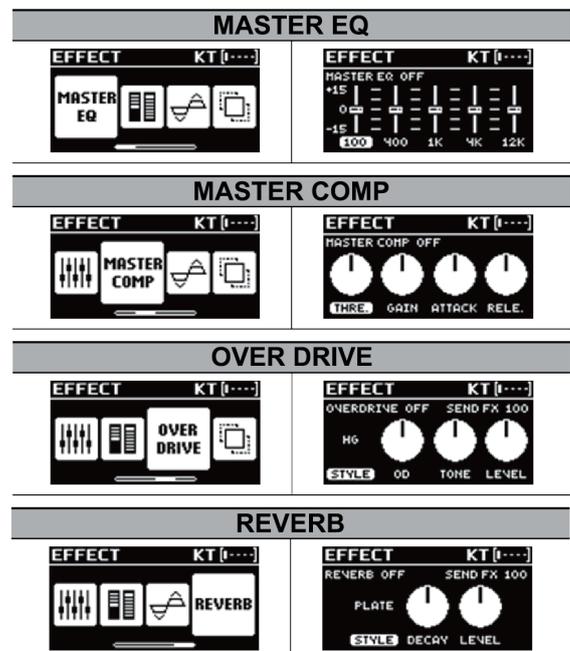
パラメーターコントロールテーブル		
名称	範囲	機能
TEMPO	40-280	スピード
BEAT	1-9	ビート
RHYTHM	4th/8th/16th/ triplet	ノート
SOUND	7 kinds of sounds	メトロノームトーン
VOLUME	0-127	メトロノーム音量

## \*エフェクト

- [MENU ボタン] を押し、メニュー画面に入ったら、[-] または [+] ボタンで EFFECT を選択し、[ENTER ボタン] を押します。

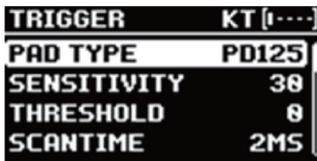


- EFFECT インターフェースでは、エフェクトタイプを [-] または [+] ボタンで選択し、[ENTER ボタン] で決定します。
- 単体のエフェクトでは、パラメーターを [-] または [+] ボタンで調整し、パラメーター項目を [ENTER ボタン] で切り替えます。



## \*トリガー

1. [MENU ボタン] を押し、メニュー画面に入ったら、[-] または [+] ボタンで TRIGGER を選択し、[ENTER ボタン] を押します。



2. TRIGGER インターフェースでは、パラメーターを [-] または [+] ボタンで調整し、パラメーター項目を [ENTER ボタン] で切り替えます。

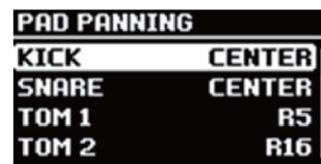
パラメーターコントロールテーブル		
名称	範囲	機能
PAD TYPE	PAD/ CYMBAL	この機能は、EXT Triggerを接続した後にのみ有効になります。EXT Triggerモジュールがシンバルの場合はCYLBALを、ドラムパッドの場合はPADを選択します。
SENSITIVITY	1-99	ドラムパッドの感度を調整します。
THRESHOLD	1-99	ドラムパッドのトリガーレベルを調整します。
<p>右図のように、THRESHOLD値を超えた、Bの波形だけは鳴り、AとCの波形はではトリガーしません。 注意:設定値が高すぎると、軽いヒットでは音が鳴らなくなります。</p>		
SCANTIME	1-8MS	トリガー信号のスキャンタイムを調整します。
<p>設定の際は、ドラムパッドのソフトな叩き方と、強い叩き方を試し、自然な音量の変化を確認してください。 注意:設定値が高すぎると発音時間が長くなりますので、できるだけ低く設定することをお勧めします。</p>		
MASKTIME	4-64MS	トリガー信号のマスキングタイムを調整します。
<p>注意:連打など、高速で演奏する場合、値が高すぎるとトリガー信号が検出されない可能性があるため、できるだけ低く設定することをお勧めします。</p>		

CURVE	LINEAR/ EXP/LOG/ LOUD	
RETRIG CANCEL	0-99	ドラムパッドのリピート値を調整します。
XTALK CANCEL	0-80	クロストーク値を調整します。
RIM GAIN	1-99	エッジのゲイン量を調整します。これはドラムのリムとシンバルのエッジにのみ影響します。
BELL GAIN	1-99	ベルのゲイン量を調整します。ライドのベルにのみ影響します。
HEAD/RIM ADJUST	1-99	ヘッドとリム(ボウとエッジ)のバランスを調整します。リムやエッジを叩いた際に、音が小さい場合に有効です。

注意: 通常の場合、最も使用するパラメーターは、SENSITIVITY と RIM GAIN です。ドラムパッドの感度を調整する場合は、SENSITIVITY で調整します。リムの感度を調整する場合は、RIM GAIN で調整します。シンバルのボウとエッジの調整も、SENSITIVITY と RIM GAIN で行います。

## \*パニング

1. [MENU ボタン] を押し、メニュー画面に入ったら、[-] または [+] ボタンで PANNING を選択し、[ENTER ボタン] を押します。



2. PANNING インターフェースでは、パラメーターを [-] または [+] ボタンで調整し、パラメーター項目を [ENTER ボタン] で切り替えます。

## \*キット名称

1. [MENU ボタン] を押し、メニュー画面に入ったら、[-] または [+] ボタンで KIT NAME を選択し、[ENTER ボタン] を押します。



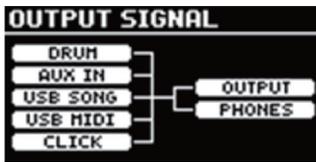
2. KIT NAME インターフェースでは、文字を [-] または [+] ボタンで変更し、位置を [ENTER ボタン] で切り替えます。



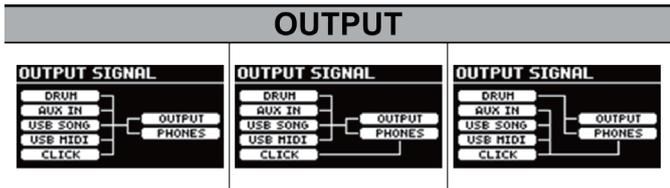
2. RESET インターフェースでは、RESET モードを [-] または [+] ボタンで調整し、[ENTER ボタン] で確定します。

\*アウツプット

1. [MENU ボタン] を押し、メニュー画面に入ったら、[-] または [+] ボタンで OUTPUT を選択し、[ENTER ボタン] を押します。



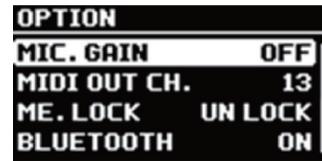
2. OUTPUT インターフェースでは、OUTPUT モードを [-] または [+] ボタンで変更します。



パラメーターコントロールテーブル	
<b>RESET CURRENT KIT</b>	現在のドラムキット設定を工場出荷時に戻します。
<b>RESET ALL KIT</b>	全てのドラムキット設定を工場出荷時に戻します。
<b>RESET SYSTEM</b>	システム設定を工場出荷時に戻します。
<b>RESET ALL</b>	全てのデータを削除し、工場出荷時に戻します。

\*オプション

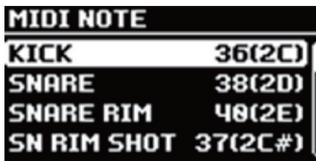
1. [MENU ボタン] を押し、メニュー画面に入ったら、[-] または [+] ボタンで OPTION を選択し、[ENTER ボタン] を押します。



2. OPTION インターフェースでは、パラメーターを [-] または [+] ボタンで調整し、パラメーター項目を [ENTER ボタン] で切り替えます。

\* MIDI ノート

1. [MENU ボタン] を押し、メニュー画面に入ったら、[-] または [+] ボタンで MIDI NOTE を選択し、[ENTER ボタン] を押します。



2. MIDI NOTE インターフェースでは、パラメーターを [-] または [+] ボタンで調整し、パラメーター項目を [ENTER ボタン] で切り替えます。

パラメーターコントロールテーブル		
名称	範囲	機能
MIC. GAIN	OFF/1-10	PHONES入力に接続されたマイクのゲインを調整します。デフォルトはOFFです。
CONTRAST	1-10	画面コントラストを調整します。
MIDI OUT CH.	1-16	MIDI OUT CHを変更します。
ME. LOCK	Lock/unlock	設定が変更されない様にロックします。
SYSTEM INFO.	/	システム情報を表示します。
BLUETOOTH	ON/OFF	Bluetooth®をON/OFFします。(NBT-1を接続している場合にのみ有効です。)

\*リセット

1. [MENU ボタン] を押し、メニュー画面に入ったら、[-] または [+] ボタンで RESET を選択し、[ENTER ボタン] を押します。

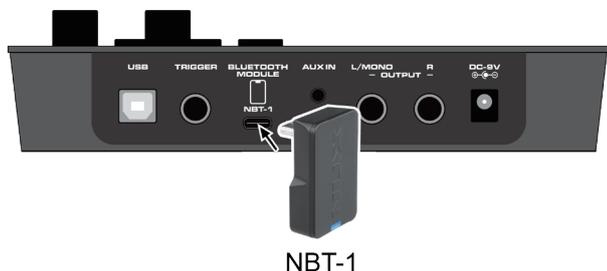
## \* USB AUDIO/USB MIDI

1. USB ケーブルを使用し、DM-310 とコンピュータを接続します。正常に認識されるとスクリーン上の USB アイコン  が点灯します。
2. DM-310 モジュールは AUDIO/MIDI レコーディングインターフェイス機能を搭載しており、USB ケーブル 1 本で、Windows/Mac にステレオオーディオと MIDI データを送信することができます。これにより、DAW でオーディオと MIDI ドラムトラックを録音したり、ソフトウェア上のドラム音源をトリガーして、スタジオやライブで演奏することができます。

注意：マルチトラックオーディオを録音するには、DAW の入力デバイスで NUX DM-310 を選択する必要があります。DM-310 の USB オーディオは、最大で 10 マルチトラックレコーディングに対応しています。Windows デバイスをご利用の場合は、ドライバをダウンロードする必要があります。

## \* BLUETOOTH

1. DM-310 には NBT-1 Bluetooth® モジュールが付属しています。Bluetooth® を使用する前に、NBT-1 を DM-310 に接続してください。

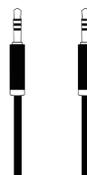


2. Bluetooth® 機能を使用する際は OPTION インターフェイスで BLUETOOTH を ON にして下さい。

OPTION	
MIC. GAIN	OFF
MIDI OUT CH.	13
ME. LOCK	UN LOCK
BLUETOOTH	ON

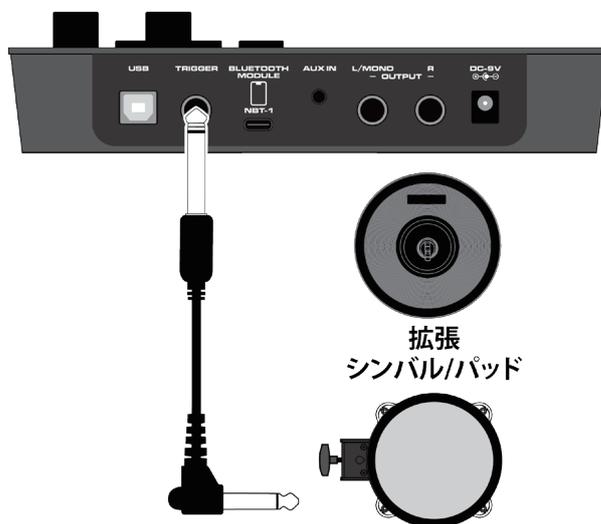
## \* AUX IN

AUX IN を使用する際は、1/8" TRRS ケーブルをご利用ください。



## \* 外部トリガー入力

1. DM-310 は外部トリガーをサポートしており、追加のドラムパッドやシンバルを接続することができます。



2. ドラム/シンバルを接続したら、MENU の TRIGGER インターフェイスで、PAD TYPE を選択します。ドラムパッドには DRUM を、シンバルパッドには CYMBAL を選択してください。音色がアサインされると、その音色を演奏できるようになります。

TRIGGER		KT [----]	
PAD TYPE		DRUM	
SENSITIVITY		30	
THRESHOLD		0	
SCANTIME		2MS	

## 技術仕様

---

- **ディスプレイ**：白黒ディスプレイ
- **ドラムセット**：18 セット
- **エフェクト**：マスター EQ、マスターコンプレッサー、オーバードライブ、リバーブ
- **コーチ機能**：アクセントシフト、タイムチェック、クワイエットカウント、チェンジアップ
- **パッド**：10" スネア x1、10" タム x1、8" タム x2、12" シンバル x3、14" シンバル x1、キック x1
- **USB**：USB オーディオ、USB MIDI
- **インターフェース**：USB、BLUETOOTH、AUX IN、OUTPUT L/MONO、OUTPUT R、DC IN、PHONES
- **電源**：DC9V センターマイナス (専用電源アダプター付属)

\*技術仕様は予告なく変更する場合があります。

NUX 輸入販売元

株式会社エレクトリ

HP:<https://www.electori.co.jp/>

※本ドキュメントの弊社以外のサイトや SNS における 2 次配布は禁止致します。  
また、弊社の許可なく本ドキュメント内の表現、データを使用することを禁止致します。